

国際子ども図書館

上野公園に位置し、「子どもの本は世界をつなぎ、未来を拓く！」の理念のもと、児童書専門図書館、子どもと本のふれあいの場、子どもの本のミュージアムの三つの役割を担っています。

デジタル化が進展する社会における子どもや図書館を取り巻く環境の変化にも対応しつつ、子どもの読書活動支援サービスを提供しています。

児童書専門図書館

国立の児童書専門図書館として、国内外の児童書及びその関連資料を収集・保存・提供するとともに、児童書に関する専門的な情報を広く発信し、児童書や子どもの読書にかかわる多様な活動を国際的な連携のもとで支援。

図書館員など児童サービス関係者を対象とした研修や交流会、海外の有識者や著名な作家、画家を招いての講演会などを通じて、児童サービスの専門性の向上に資する情報を提供。



子どもと本のふれあいの場



国内外の児童書の提供、各種催物、見学・体験などを行うほか、インターネットや身近な図書館を通して、全ての子どもが本とふれあい、図書館や読書に親しむきっかけを提供。

子どもの本のミュージアム

児童書に関する展示会やそれに関連した講演会、各種イベント、電子展示会等を通して、児童書の持つ魅力を広く一般に紹介するとともに、上野公園という立地や、明治期に建設されたレンガ棟が歴史的建造物であるという点をいかし、総合的に文化に親しむ場としての図書館を目指す。



子どもと、児童書に関わる 全ての人のために

藤崎 理恵子 児童サービス課副主査

私が所属する児童サービス課では、主に小学生までの子ども向けの「子どものへや」「世界を知るへや」と中高生向けの「調べものの部屋」を運営しており、来館者に直接図書館サービスを提供する機会の多い部署です。「星について調べたい」、「魔法使いの出てくるお話が読みたい」、「お薦めの絵本を紹介してほしい」等々、様々な相談を受けるので、それぞれのニーズに合ったレファレンスサービスを行っています。また、おはなし会や本に関するイベントを行うのも私たちの仕事です。こうしたサービスを通して、子どもたちが、本とふれあい、図書館や読書に親しむきっかけを提供していることに、とてもやりがいを感じます。

このほかにも、学校からの申込みに応じて、「学校図書館セット貸出し」や、中高生を対象に、「調べものの部屋」の資料を使った「調べもの体験プログラム」を提供しています。また、図書館関係の国際的な会議に参加したり、海外から専門家をお招きしてお話を伺ったりする機会もあり



ます。日本とは異なる外国の児童サービスの状況を知ることは、刺激的で、広い視野を持つきっかけとなります。そのような情報を収集して、業務に活用し、また国内に発信していくのも、重要な仕事の一つなのです。

このように、業務は多岐に渡りますが、子どもたちのため、児童書に関わる全ての人たちのために、学び、実践することを目指し、日々の業務に取り組んでいます。



閉館後の排架整頓

学生時代の専攻

生物学

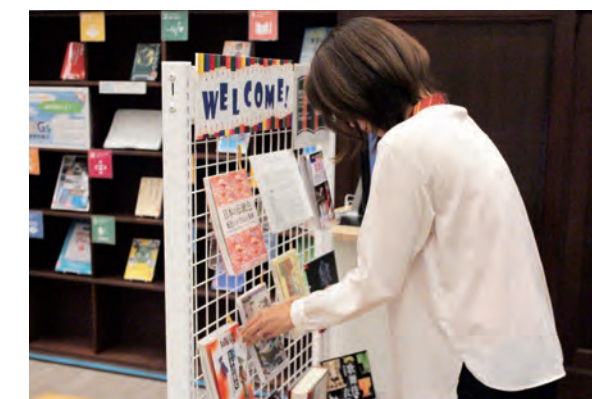
Career

H23.4 調査及び立法考査局農林環境課

H25.10 関西館アジア情報課

H28.4 国際子ども図書館企画協力課

H30.4 同 児童サービス課 (H30.7 副主査)



「調べものの部屋」の展示替え